

大項目	中項目	小項目	細目	課題番号	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					R1年の取組状況	R2年の取組状況	R3年以降の取組内容	R2までに取組んで、 ①: 気の付いたことや分かったこと、 ②: 今後の取組に向けたコメント
							H29	H30	R1	R2	R3				
円滑かつ迅速な避難のための取組	■情報伝達、避難計画等に関する事項	ア) 洪水時における河川管理者からの情報提供等(内容及びタイミングの確認)	河川管理者と市町村長等に河川の情報伝達するホットラインの構築状況	A	R03年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■	・ホットライン等を活用した情報伝達について、引き続き実施。 ・R1年においてホットラインの利用はなかった。	・ホットライン等を活用した情報伝達について、引き続き実施。	・ホットライン等を活用した情報伝達について、引き続き実施。	・引き続き運用。
						興部町	■	■	■	■	■	・R1年においてホットラインの利用はない。	・R2年においてホットラインの利用はない。	・ホットライン等を活用した情報伝達について、引き続き実施。	
						西興部村	■	■	■	■	■	・ホットライン等を活用した情報伝達について、引き続き実施。	・ホットライン等を活用した情報伝達について、引き続き実施。	・ホットライン等を活用した情報伝達について、引き続き実施。	・引き続き運用。
						雄武町	■	■	■	■	■	・ホットライン等を活用した情報伝達について、引き続き実施。	・ホットライン等を活用した情報伝達について、引き続き実施。	・ホットライン等を活用した情報伝達について、引き続き実施。	
						紋別地区消防組合	■	■	■	■	■	・河川管理者から自治体首長へ伝達された情報を、速やかに町防災担当を通じて、各消防署へ伝達する体制を維持した。	・河川管理者から自治体首長へ伝達された情報を、速やかに町村防災担当を通じて、各消防署へ伝達する体制を維持した。	・河川管理者から自治体首長へ伝達された情報を、速やかに町村防災担当を通じて、各消防署へ伝達する体制を引き続き維持する。	伝達体制を引き続き維持。
		イ) 避難勧告等の発令対象区域、避難判断基準等の確認	「避難勧告等に関するガイドライン」(H29.1月内閣府)を参考とした避難勧告等の発令対象区域、発令判断基準等の確認	B1	R03年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■				
						興部町	■	■	■	■	■	・R1年において取り組めていないため、R2年に取組。	・R2年において取り組めていないため、R3年に取組。	・興部川下流域について、想定最大規模等の洪水における避難勧告等の発令区域、発令基準等を設定。	
						西興部村	■	■	■	■	■				
						雄武町	■	■	■	■	■				

大項目	中項目	小項目	細目	課題番号	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					R1年の取組状況	R2年の取組状況	R3年以降の取組内容	R2までに取組んで、 ①: 気の付いたことや分かったこと、 ②: 今後の取組に向けたコメント		
							H29	H30	R1	R2	R3						
円滑かつ迅速な避難のための取組	■情報伝達、避難計画等に関する事項	イ) 避難勧告等の発令対象区域、避難判断基準等の確認	・水害対応タイムラインの作成状況、運用状況を記載 ※協議会資料を適宜修正	B2	R03年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■	避難勧告等に関するガイドラインの修正を踏まえ、水位周知河川における改良版避難勧告着目型タイムラインを作成した。(興部川にて試行運用を開始)	・今後の洪水状況等において地域の課題を検証した。	・今後の洪水状況等において地域の課題を検証するとともに必要に応じてタイムラインの見直しを行っていく。	・改良版を運用し、課題等について検証していく。		
						气象台	■	■	■	■	■	・振興局作成のタイムライン見直しに協力した。	・ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった	・必要に応じてタイムラインの作成・見直しに協力。			
						自衛隊	■	■	■	■	■	・構成市町との幹事会、協議会等を通じ、情報共有を行った。	・構成市町との幹事会、協議会等を通じ、情報共有を行った。	・引き続き構成市町との幹事会、協議会等を通じ、情報共有を行う。			
						北海道警察及び興部警察署	■	■	■	■	■	・防災関係機関が主催する訓練に参加した。	・防災関係機関が主催する訓練に参加。	・防災関係機関が主催する訓練に参加。			
						興部町	■	■	■	■	■	・水位周知河川について、タイムラインの本運用のための協議を振興局と実施予定。 ・訓練は実施していない。	・現状のタイムラインを活用していく。	・現状のタイムラインを活用していく。			
						西興部村	■	■	■	■	■	・特段の取組はなかった。	・特段の取組はなかった。	・必要に応じて他市町村の訓練に参加。			
						紋別地区消防組合	■	■	■	■	■	・水害対応タイムラインに沿った訓練を実施しなかった。	・興部町主催の防災訓練に参加。コロナウイルス感染症拡大防止のため、職員のみで基本的な訓練内容に変更して実施した。	・水害対応タイムラインに沿った訓練を実施する。			
						振興局	■	■	■	■	■	・水位周知河川の見直し等については、無かった。	・水位周知河川の見直し等、必要に応じ、関係機関と協議・検討を行った。	・水位周知河川の見直し等、必要に応じ、関係機関と協議・検討。	・必要に応じ基準水位の見直しを検討。		
		ウ) 水害危険性(浸水想定及び河川水位等の情報)の周知	水位周知河川の検討・調整	C1	R03年度までに実施	興部町	■	■	■	■	■	・水位周知河川の追加等、必要に応じ、関係機関と協議・検討。 ・現在までに検討に至っていない。	・水位周知河川の追加等、必要に応じ、関係機関と協議・検討。 ・現在までに検討に至っていない。	・水位周知河川の追加等、必要に応じ、関係機関と協議・検討。			
						西興部村	■	■	■	■	■	・水位周知河川の追加等、必要に応じ、関係機関と協議・検討。	・水位周知河川の追加等、必要に応じ、関係機関と協議・検討。	・水位周知河川の追加等、必要に応じ、関係機関と協議・検討。			
						雄武町	■	■	■	■	■	・水位周知河川の追加等、必要に応じ、関係機関と協議・検討。	・水位周知河川の追加等、必要に応じ、関係機関と協議・検討。	・水位周知河川の追加等、必要に応じ、関係機関と協議・検討。			
						振興局	■	■	■	■	■	「地域の水害危険性の周知に関するガイドライン」(H29.3月国交省)を参考に、簡易な方法による水害危険性の周知を行う河川及び当該河川における情報提供方法の検討調整状況	完				
						C2	R03年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■				
								西興部村	■	■	■	■	■	危機管理型水位計の設置により、大雨時には水位観測データを確認。	危機管理型水位計の設置により、大雨時には水位観測データを確認し、必要に応じて近隣住民に対して全戸に設置している告知放送受信機を通じて注意喚起を実施。		

大項目	中項目	小項目	細目	課題番号	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					R1年の取組状況	R2年の取組状況	R3年以降の取組内容	R2までに取り組んで、 ①: 気の付いたことや分かったこと、 ②: 今後の取組に向けたコメント		
							H29	H30	R1	R2	R3						
円滑かつ迅速な避難のための取組	■情報伝達、避難計画等に関する事項	エ) ICTを活用した住民等へ適切かつ確実に情報伝達する体制や方法の改善・充実	「川の防災情報」等、河川水位やCCTVカメラ等のリアルタイム情報等の周知方法について検討調整	D1	R03年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	・HPや出前講座等で広報活動を実施。	・HP等で広報活動を実施。	・引き続き、HPや出前講座等で広報活動を実施。	・継続した広報活動による防災意識の醸成が必要		
						振興局	■	■	■	■	■	・水害危険性などから早急に配置が必要な河川について簡易型河川監視カメラを設置。 【2基】 興部町：興部川 西興部村：興部川 危機管理型水位計設置に着手。	・水害危険性などから早急に配置が必要な河川について危機管理型水位計を設置。 【3基】 雄武町：オコツナイ川、ボンオコツナイ川 興部町：沙留川		・R2.6月で設置を完了予定。		
						興部町	■	■	■	■	■						
						西興部村	■	■	■	■	■	・大雨時にはインターネットの『川の水位情報(危機管理型水位計)』で、興部川(国道239号上興橋地点)の水位観測データを確認。	・大雨時にはインターネットの『川の水位情報(危機管理型水位計)』で、興部川(国道239号上興橋地点)の水位観測データを確認。	・大雨時にはインターネットの『川の水位情報(危機管理型水位計)』で、興部川(国道239号上興橋地点)の水位観測データを確認。	役場から水位が確認できるため、大雨時の監視にとっても効果的である。		
						雄武町	■	■	■	■	■						
						振興局	■	■	■	■	■						
	エ) ICTを活用した住民等へ適切かつ確実に情報伝達する体制や方法の改善・充実	■情報伝達、避難計画等に関する事項	緊急速報メールの活用等、住民等に対する洪水情報や避難情報等の適切かつ確実な伝達体制・方法について検討・調整	D2	R03年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■						
						气象台	■	■	■	■	■						
						興部町	■	■	■	■	■	・R1年において、登録制メールの機能充実(LINE、架電、FAX、SNS、SMS送信機能の追加)を図っている。	・登録制メールへの登録を促進 ・広報誌やHPで、水害に係る啓発記事を、必要に応じて充実を図る。	・登録制メールへの登録を促進 ・広報誌やHPで、水害に係る啓発記事を、必要に応じて充実を図る。	・R1年において、登録制メールの機能充実(LINE、架電、FAX、SNS、SMS送信機能の追加)を図っている。		
						西興部村	■	■	■	■	■						
						雄武町	■	■	■	■	■	・緊急速報メールの訓練配信 ・防災行政無線の訓練放送 ・ホームページでの緊急情報配信	・防災行政無線の訓練放送 ・ホームページでの緊急情報配信	・緊急速報メールの訓練配信 ・防災行政無線の訓練放送 ・ホームページでの緊急情報配信 ・戸別受信機の情報収集と検討 ・サポートメールの情報収集と検討			
						紋別地区消防組合	■	■	■	■	■	・関係町村の避難所等の情報収集、防災担当者との連絡体制を確認し、避難情報や各種警報等が発令された際は、既存の指令伝達網を利用して、消防職員及び消防団員に伝達する体制を維持した。	・関係町村の避難所等の情報収集、防災担当者との連絡体制を確認し、避難情報や各種警報等が発令された際は、既存の指令伝達網を利用して、消防職員及び消防団員に伝達する体制を引き続き維持した。	・関係町村の避難所等の情報収集、防災担当者との連絡体制を確認し、避難情報や各種警報等が発令された際は、既存の指令伝達網を利用して、消防職員及び消防団員に伝達する体制を引き続き維持する。	伝達体制を引き続き維持する。		

大項目	中項目	小項目	細目	課題番号	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					R1年の取組状況	R2年の取組状況	R3年以降の取組内容	R2までに取り組んで、 ①: 気の付いたことや分かったこと、 ②: 今後の取組に向けたコメント	
							H29	H30	R1	R2	R3					
円滑かつ迅速な避難のための取組	■情報伝達、避難計画等に関する事項	オ) 隣接市町村への広域避難体制の構築	各市町村内の避難場所だけで避難者を収容できない場合等は、隣接市町村等における避難場所の設定や連絡体制等について検討・調整する	E	R03年度までに実施	興部町	■	■	■	■	■	・R3までに隣接する自治体と広域避難計画を検討。	・R3までに隣接する自治体と広域避難計画を検討。	・R3までに隣接する自治体と広域避難計画を検討。	・現在までに検討に至っていない。	
						西興部村	■	■	■	■	■	・R3までに隣接する自治体と広域避難計画を検討。	・R3までに隣接する自治体と広域避難計画を検討。	・R3までに隣接する自治体と広域避難計画を検討。	コロナ禍における避難所収容人数の見直しが必要であり、自宅避難等も含め抜本的な検討が必要である。	
						雄武町	■	■	■	■	■	・R3までに隣接する自治体と広域避難計画を検討。	・R3までに隣接する自治体と広域避難計画を検討。	・R3までに隣接する自治体と広域避難計画を検討。	・現在までに検討に至っていない。	
		力) 要配慮者利用施設等における避難計画等の作成・訓練に対する支援	市町村地域防災計画に定められた要配慮者利用施設の避難確保計画及び地下街等の避難確保・浸水防止計画の作成状況、訓練の実施状況を確認する。	F1	R03年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・振興局や自治体と連携し、水害・土砂災害時の避難行動について理解を深めてもらうよう、HPや出前講座等で広報活動を実施。	・振興局や自治体と連携し、水害・土砂災害時の避難行動について理解を深めてもらうよう、HP等で広報活動を実施。	・引き続き、振興局や自治体と連携し、水害・土砂災害時の避難行動について理解を深めてもらうよう、HPや出前講座等で広報活動を実施。	・理解を深めてもらうためには、継続した広報活動による防災意識の醸成が必要
						振興局	■	■	■	■	■	・支援の要請はなかった。	・支援の要請はなかった。	・必要に応じて、支援を実施。	・要望に応じてリストの見直しを検討。	
						興部町	■	■	■	■	■	・洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設について、地域防災計画に記載予定。 ・現在までに検討に至っていない。	・洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設について、地域防災計画に記載。		・現在までに検討に至っていない。	
	力) 要配慮者利用施設等における避難計画等の作成・訓練に対する支援	避難確保計画の作成や訓練の実施状況等を踏まえ、支援策や支援体制等について検討・調整する	F2	R03年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・避難確保計画又は浸水防止計画の作成を行う施設の所有者又は管理者からの作成要請は無かった。	・避難確保計画又は浸水防止計画の作成を行う施設の所有者又は管理者からの作成要請は無かった。	・避難確保計画又は浸水防止計画の作成を行う施設の所有者又は管理者に対し、必要に応じて作成の支援を実施。	・作成に当たって支援要請があった場合は、支援協力していく	
					興部町	■	■	■	■	■	・施設管理者が作成する計画のため、施設管理者と協議し、計画の作成、訓練について、協議はなかった。	・施設管理者が作成する計画のため、施設管理者と協議し、計画の作成、訓練について、協議はなかった。	・施設管理者が作成する計画のため、施設管理者と協議し、計画の作成、訓練について、協議予定。	・現在までに検討に至っていない。		
					西興部村	■	■	■	■	■	完					
	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	ア) 想定最大規模の降雨に係る洪水浸水想定区域図等の共有	G	R03年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■	■	完				
					興部町	■	■	■	■	■	■	・R3年度までに、水位周知河川以外の洪水氾濫危険区域図を合わせて、興部町HPIに掲載予定。	・R2年3月でハザードマップを作成、5月に全戸配布、それに合わせHPに掲載した。			
					紋別地区消防組合	■	■	■	■	■	■	・西興部村主催の防災セミナーに参加。	・関係機関等の避難計画作成や訓練支援体制等への協議・協力の要請はなかった。	・関係機関等の避難計画作成や訓練支援体制等への協議・協力を参画する。	防災セミナーや防災訓練に参加し、住民への防災意識向上のための教育、訓練を行うことが大事。	

大項目	中項目	小項目	細目	課題番号	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					R1年の取組状況	R2年の取組状況	R3年以降の取組内容	R2までに取り組んで、 ①: 気の付いたことや分かったこと、 ②: 今後の取組に向けたコメント
							H29	H30	R1	R2	R3				
円滑かつ迅速な避難のための取組	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	イ) 水害ハザードマップの作成・改良と周知	想定最大規模に係る洪水浸水想定区域図を踏まえた洪水ハザードマップの作成・公表予定等を共有する	H1	R03年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■	・町村からの助言等の依頼はなかった。	・町村が作成するハザードマップ作成にあたり助言等の依頼はなかった。	・町村が作成するハザードマップ作成にあたり必要に応じて助言。	・町村の要請があれば、補助事業メニューを紹介するなどの支援を行う。
						气象台	■	■	■	■	■	・ハザードマップ作成に関する助言等の依頼はなかった。	・町村が作成するハザードマップ作成にあたり助言等の依頼はなかった。	・町村が作成するハザードマップ作成にあたり必要に応じて助言。	
						興部町	■	■	■	■	■	・R元年度末までに想定最大規模のハザードマップを作成し公表予定。	・R2年3月でハザードマップを作成、5月に全戸配布を行った。		
						西興部村	■	■	■	■	■	・村内に洪水浸水想定区域はない。	・村内に洪水浸水想定区域はない。	・村内に洪水浸水想定区域はない。	
						雄武町	■	■	■	■	■	・R03年度までに作成し公表。	・R03年度までに作成し公表。	・H26年度に作成、公表しており、R03年度までに多言語版の作成を検討。	
		振興局	■	■	■	■	■	・町村からの助言等の依頼はなかった。	・町村がハザードマップを作成する際の助言等の依頼はなかった。	・町村が作成するハザードマップ作成にあたり必要に応じて助言。	・町村の要請があれば、補助事業メニューを紹介するなどの支援を行う。				
		气象台	■	■	■	■	■	・ハザードマップ作成に関する助言等の依頼はなかった。	・町村がハザードマップを作成する際の助言等の依頼はなかった。	・町村が作成するハザードマップ作成にあたり必要に応じて助言。					
		興部町	■	■	■	■	■	・公表する際の周知方法を検討。	・5月に全戸配布済み。						
		西興部村	■	■	■	■	■	・公表する際の周知方法を検討。	・公表する際の周知方法を検討。	・公表する際の周知方法を検討。					
		雄武町	■	■	■	■	■	・公表する際の周知方法を検討。	・公表する際の周知方法を検討。	・公表する際の周知方法を検討。	・H26年度に作成し全戸配布しているが、防災訓練や出前講座等で効果的な周知が必要。				
		振興局	■	■	■	■	■	・町村が『まるごと・まちごとハザードマップ』の取組を行う場合の助言等の依頼はなかった。	・町村が『まるごと・まちごとハザードマップ』を検討する際の助言等の依頼はなかった。	・町村が『まるごと・まちごとハザードマップ』を検討する場合は必要に応じて助言。	・町村の要請があれば、補助事業メニューを紹介するなどの支援を行う。				
		气象台	■	■	■	■	■	・『まるごと・まちごとハザードマップ』の計画に係る相談はなかった。	・町村が『まるごと・まちごとハザードマップ』を検討する際の助言等の依頼はなかった。	・町村が『まるごと・まちごとハザードマップ』を検討する場合は必要に応じて助言。					
		興部町	■	■	■	■	■	・令和3年度までに『まるごと・まちごとハザードマップ』の取組を引き続き検討。	・令和3年度までに『まるごと・まちごとハザードマップ』の取組を引き続き検討。	・令和3年度までに『まるごと・まちごとハザードマップ』の取組を引き続き検討。	・現在までに検討に至っていない。				
		西興部村	■	■	■	■	■	・令和3年度までに『まるごと・まちごとハザードマップ』の取組を引き続き検討。	・令和3年度までに『まるごと・まちごとハザードマップ』の取組を引き続き検討。	・令和3年度までに『まるごと・まちごとハザードマップ』の取組を引き続き検討。					
		雄武町	■	■	■	■	■	・令和3年度までに『まるごと・まちごとハザードマップ』の取組を引き続き検討。	・令和3年度までに『まるごと・まちごとハザードマップ』の取組を引き続き検討。	・令和3年度までに『まるごと・まちごとハザードマップ』の取組を引き続き検討。	・現在までに検討に至っていない。				

大項目	中項目	小項目	細目	課題番号	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					R1年の取組状況	R2年の取組状況	R3年以降の取組内容	R2までに取組んで、 ①: 気の付いたことや分かったこと、 ②: 今後の取組に向けたコメント
							H29	H30	R1	R2	R3				
円滑かつ迅速な避難のための取組	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	エ) 住民、関係機関が連携した避難訓練等の充実	各市町村等による避難訓練の実施状況や実施予定を共有するとともに、住民等や多様な関係機関が連携した避難訓練を検討調整	J	R03年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	・該当する訓練等は無かった。	・該当する訓練等は無かった。	・必要に応じて各関係機関主催の訓練等に参加。	・関係機関より要請があった場合は、積極的に参加
						振興局	■	■	■	■	■	・北海道防災総合訓練の実施	・各関係機関主催の訓練に関する情報収集。 ・道の避難所運営訓練に関する情報を各関係機関に提供。	・引き続き各関係機関主催の訓練等に参画。	・町村が主催する訓練などに対し、道へのサポート要望が一定程度ある。
						気象台	■	■	■	■	■	・雄武町、西興部村の防災訓練に参画した。	・町村主催の避難訓練等に参画する機会がなかった。	・引き続き、町村主催の避難訓練等に参画。	
						自衛隊	■	■	■	■	■	・興部町の防災訓練に参画した。	・関係機関主催の訓練等に参画した。	関係機関主催の訓練等に参画。	②引き続き、関係機関主催の訓練等に参画。
						北海道警察及び興部警察	■	■	■	■	■	・関係機関主催の訓練等に参加。	・関係機関主催の訓練等に参画。	・引き続き、関係機関主催の訓練等に参画。	・引き続き、関係機関主催の訓練等に参画。
						興部町	■	■	■	■	■	・地域住民、関係機関、更に、民間機関を交えた総合防災訓練を引き続き実施。 ・自助、共助による災害に強い地域作りを目指し、自主防災組織を強化・促進するための取組として、避難訓練を引き続き実施。	・R2はコロナウイルス感染症を考慮し町をあげての防災訓練を見合わせる、町職員参加の訓練を実施した。	・地域住民、関係機関、更に、民間機関を交えた総合防災訓練を引き続き実施。 ・自助、共助による災害に強い地域作りを目指し、自主防災組織を強化・促進するための取組として、避難訓練を引き続き実施。	特になし。津波、洪水土砂災害について、交互に毎年実施していく。
						西興部村	■	■	■	■	■	・10月19日に防災への普及啓発を目的に、防災セミナーを北海道防災総合訓練と連携して開催。網走地方気象台、北海道の講演、段ボールベッド組立体験、日赤奉仕団による炊き出しなどを実施。	・11月14日にコロナ禍を踏まえた避難所設置・避難者受入、避難所運営をテーマに、道危機対策課の支援を受けて職員研修及び防災セミナーを開催。	・引き続き、防災セミナーなどを通じた啓発を行う。	マンネリ化しないようにテーマの選定に苦慮している。
						雄武町	■	■	■	■	■	・北海道防災総合訓練に参画した。 ・雄武町総合防災訓練を実施し、避難訓練も同時に実施した。	・R2は新型コロナウイルス感染症を考慮し、雄武町総合防災訓練を中止とした。	・北海道防災総合訓練へ可能な範囲で参画 ・雄武町総合防災訓練の実施(避難訓練含む)	今後も継続的な避難訓練実施を目指し、関係機関の協力も交えたい。
紋別地区消防組合	■	■	■	■	■	・雄武町・西興部村主催の防災訓練・セミナー等に参加した。	・興部町主催の防災訓練に参加。コロナウイルス感染症拡大防止のため職員のみで、基本的な訓練内容に変更して実施した。 ・幌内、沢木、元沢木地区において避難所運営体験を実施した。	・関係町村が主催する避難訓練等に参画する。	防災セミナーや防災訓練に参加し、住民への防災意識向上のための教育、訓練を行うことが大事。						

大項目	中項目	小項目	細目	課題番号	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					R1年の取組状況	R2年の取組状況	R3年以降の取組内容	R2までに取組んで、 ①: 気の付いたことや分かったこと、 ②: 今後の取組に向けたコメント
							H29	H30	R1	R2	R3				
円滑かつ迅速な避難のための取組	■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	オ) 防災教育の促進	防災教育に関する指導計画作成への支援など、小学校等の先生による防災教育の実施を拡大する方策等について検討調整	K	R03年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	・関係する町村からの要請は無かった。	・関係する町村からの要請は無かった。	・必要に応じて、防災意識の向上や河川環境への理解を深めるため、『川の防災学習会』を実施。	・関係する町村より要請があった場合は、積極的に実施
						振興局	■	■	■	■	■	・町村が行う取組について協力。 ・「1日防災学校」の実施を推進し、地域コミュニティの核となる場である学校を活用し、防災に関する教育の普及推進を図った。	・町村が行う取組について協力支援。 ・「1日防災学校」を実施。(雄武小)	・引き続き、町村が行う取組について協力支援。	・今後も引き続き1日防災学校等への支援を行う。
						気象台	■	■	■	■	■	・1日防災学校や防災授業の実施に協力(雄武小) ・防災に関する講話等(遠紋地区議員研修会)	・1日防災学校や防災授業の実施に協力(雄武小、紋別潮見中) ・「eラーニング形式の学習教材」を用いた関係機関との連携	・引き続き関係機関主催の訓練、講習会、防災教育等に参加。	②: 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した取り組みを行う必要がある。
						自衛隊	■	■	■	■	■	・町村が行う取組について協力した。	・町村が行う取組について協力した。	・引き続き、町村が行う取組について協力。	②関係する町村より要請があった場合は、積極的に実施
						興部町	■	■	■	■	■	・引き続き防災訓練等を継続的に実施。	・1日防災学校を実施。	・引き続き防災訓練等を継続的に実施。	
						西興部村	■	■	■	■	■	・防災教育の一環として小中学校にて防災訓練等を実施した。	・11月18日に村内小学生を全学年を対象に1日防災学校を開催し、防災カルタ、段ボールベッド組立体験などを通じて防災教育を行った。	・継続的に防災教育に取り組む	保護者も参観することにより、効果的な啓発につながる。
						雄武町	■	■	■	■	■	・出前講座、講習会の実施はなかった。 ・雄武小学校1日防災学校を実施した。	・幌内地区にて避難所運営体験を実施した。 ・沢木・元沢木地区にて避難所運営体験内で出前講座を実施予定。 ・雄武小学校1日防災学校を実施した。	・出前講座、講習会等を必要に応じて実施。 ・町内の学校で1日防災学校を実施。	・避難所運営体験については、町民の当事者意識の改革が必要。 ・1日防災学校については、関係機関とともに毎年度実施したい。
円滑かつ迅速な避難のための取組	■円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項	ア) 危機管理水位計等の整備	危機管理型水位計の配置計画を検討調整	L1	R3年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■	・水害危険性などから早急に配置が必要な河川について危機管理型水位計を設置に着手。	・水害危険性などから早急に配置が必要な河川について危機管理型水位計を設置。 【3箇所】 雄武町:オコツナイ川、ボンオコツナイ川 興部町:沙留川		・R2.6月で設置を完了。
			・河川監視用カメラの配置計画を検討調整	L2	R3年度までに実施	振興局			■	■	■	・水害危険性などから早急に配置が必要な河川について簡易型河川監視カメラを設置。 【2箇所】 興部町:興部川 西興部村:興部川		・R1で設置完了。 設置箇所について関係機関へ周知する。	
		イ) 危機管理型ハード対策の実施	危機管理型ハード対策の概ね5年間の整備箇所を共有 ※堤防決壊の時間を引き延ばす天端舗装	M	R03年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■	・重要水防区間の堤防天端の保護箇所について検討。	・重要水防区間の堤防天端の保護箇所について検討。	・引き続き、令和3年度までに重要水防区間の堤防天端の保護箇所について検討。	・引き続き堤防天端舗装を実施・検討。

大項目	中項目	小項目	細目	課題番号	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					R1年の取組状況	R2年の取組状況	R3年以降の取組内容	R2までに取り組んで、 ①: 気の付いたことや分かったこと、 ②: 今後の取組に向けたコメント
							H29	H30	R1	R2	R3				
円滑かつ迅速な避難のための取組	■円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項	ウ) 河川防災ステーション等の整備 ※防災資材整備	ブロック・土砂等の備蓄場について、設置位置及び規模等を検討調整する	N	R03年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■	・防災資材について、計画的に整備、備蓄。	・防災資材について、計画的に整備、備蓄、充実。	・引き続き防災資材について、計画的に整備、備蓄、充実。	・防災資材を計画的に備蓄、備蓄。
						自衛隊	■	■	■	■	■	・防災装備品を計画的に整備。	・防災装備品を計画的に整備。	・引き続き、防災装備品を計画的に整備。	②引き続き、防災装備品を計画的に整備。
						興部町	■	■	■	■	■	完			
						西興部村	■	■	■	■	■	・防災備蓄計画に基づき、計画的に備蓄。	・コロナ対応も踏まえた備蓄品の選定を行った。	・防災備蓄計画に基づき、計画的に備蓄。	・備蓄倉庫は整備済みだが、コロナ対応により備蓄品目が増え、保管場所に苦慮していることから、国や道も含めた広域での備蓄の検討も必要と考える。
	エ) 避難場所、避難経路の整備	避難場所、避難経路の整備にあたり、河川工事等の発生土砂を有効活用するなど検討調整	O	R03年度までに実施	興部町	■	■	■	■	■	・避難計画を策定する際に、必要に応じて検討。	・避難計画を策定する際に、必要に応じて検討。		・現在までに検討に至っていない。	
					西興部村	■	■	■	■	■	・避難計画を策定する際に、必要に応じて検討。	・避難計画を策定する際に、必要に応じて検討。	・避難計画を策定する際に、必要に応じて検討。		
					雄武町	■	■	■	■	■	・避難計画を策定する際に、必要に応じて検討。	・避難計画を策定する際に、必要に応じて検討。	・避難計画を策定する際に、必要に応じて検討。		
的確な水防活動のための取組	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	ア) 重要水防箇所の確認	河川整備の進捗を踏まえて、出水期前に重要水防箇所の確認を行うとともに現地にて関係者による共同点検等の実施について検討調整	P	R03年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■	・道管理河川の共同点検に向けて実施方針について検討した。 ・重要水防区間の見直しを行った。 ・国他河川の共同点検に参画。	・道管理河川の共同点検に向けた実施方針について検討。	・道管理河川の共同点検に向けた実施方針について検討。	・道管理河川の共同点検の実施方針について引き続き検討し実施。
						興部町	■	■	■	■	■	・該当する点検はなかった。	・該当する点検はなかった。	・関係機関で実施する共同点検があれば参画。	
						西興部村	■	■	■	■	■	・該当する点検はなかった。	・該当する点検はなかった。	・関係機関で実施する共同点検があれば参画。	
						雄武町	■	■	■	■	■	・該当する点検はなかった。	・該当する点検はなかった。	・関係機関で実施する共同点検があれば参画。	
						紋別地区消防組合	■	■	■	■	■	・関係機関との共同点検はなかった。	・関係機関との共同点検はなかった。	・関係機関が実施する共同点検に参画する。	・引き続き共同点検に参画する。



大項目	中項目	小項目	細目	課題番号	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					R1年の取組状況	R2年の取組状況	R3年以降の取組内容	R2までに取り組んで、 ①: 気の付いたことや分かったこと、 ②: 今後の取組に向けたコメント
							H29	H30	R1	R2	R3				
的確な水防活動のための取組	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	イ) 水防機材の整備等	各構成員が保有する水防資機材の配置について共有するとともに、水防資機材の整備や洪水時の相互応援について検討調整	Q	R03年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■	・関係機関と情報を共有した。	・関係機関の保有状況(数や保管場所)を防災ハンドブックを作成し情報を共有した。	・防災ハンドブックを更新し情報を共有。	・防災ハンドブックを毎年更新し、詳細な情報共有を図る。
						自衛隊	■	■	■	■	■	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有。 ・人命救助システム(水害用)の整備及び取扱い訓練を実施。	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有。 ・人命救助システム(水害用)の整備及び取扱い訓練を実施。	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有予定。 ・人命救助システム(水害用)の整備及び取扱い訓練を実施予定。	②引き続き、情報共有等を図る。
						興部町	■	■	■	■	■	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有。	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有。	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有。	
						西興部村	■	■	■	■	■	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有。	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有。	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有。	
						雄武町	■	■	■	■	■	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有。	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有。	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有。	
						紋別地区消防組合	■	■	■	■	■	・各町村と水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有。 ・雄武支署において土嚢袋等を購入。	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有した。	・水防資機材等の保有状況(数や保管場所)の詳細を共有する。	・引き続き情報を共有する。
		ウ) 水防訓練の充実	多様な関係機関、住民等の参加等による実践的な水防訓練について検討調整	R	R03年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	・関係機関の水防訓練は無かった。	・関係機関の水防訓練は無かった。	・必要に応じて、関係機関の水防訓練等に参画。	・関係機関より要請があった場合は、積極的に参加
						振興局	■	■	■	■	■	・興部町主催の防災訓練に参加。	・各関係機関主催の訓練等に参画。	・引き続き各関係機関主催の訓練等に参画。	・関係機関より要請があった場合は、積極的に参加
						气象台	■	■	■	■	■	・水防訓練等の参加要請がなかった。	・水防訓練等の参加要請がなかった。	・関係機関の水防訓練等に、必要に応じて参画。	
						自衛隊	■	■	■	■	■	・水防訓練の参加要請がなかった。	・水防訓練の参加要請がなかった。	・各関係機関主催の訓練等に積極的に参画。	②引き続き、各関係機関主催の訓練等に参画。
						北海道警察及び興部警察	■	■	■	■	■	・防災関係機関主催の訓練等に参加。	・各関係機関主催の訓練等に参画。	・引き続き、各関係機関主催の訓練等に参画。	・引き続き、各関係機関主催の訓練等に参画。
						興部町	■	■	■	■	■	・引き続き、関係機関を交えた総合的な防災訓練を実施。	・引き続き、関係機関を交えた総合的な防災訓練を実施。(R2は、見合わせる。)	・引き続き、関係機関を交えた総合的な防災訓練を実施。	
						西興部村	■	■	■	■	■	・水防訓練への参加はなかった。	・水防訓練への参加はなかった。	・必要に応じて、関係機関の水防訓練に参画。	
						雄武町	■	■	■	■	■	・雄武町総合防災訓練を実施し、北海道防災総合訓練との連携及び関係機関の協力も得られた。	・水防訓練への参加はなかった。	・引き続き、関係機関も交えた総合的な防災訓練を実施。	今後も継続的に実施し、関係機関の協力も交えたい。
						紋別地区消防組合	■	■	■	■	■	・関係機関を交えた総合的な防災訓練がなかった。	・関係機関を交えた総合的な水防訓練への参画はなかった。	・引き続き、関係機関を交えた総合的な防災訓練に参画する。	・引き続き防災訓練に参画。

大項目	中項目	小項目	細目	課題番号	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					R1年の取組状況	R2年の取組状況	R3年以降の取組内容	R2までに取り組んで、 ①: 気の付いたことや分かったこと、 ②: 今後の取組に向けたコメント
							H29	H30	R1	R2	R3				
的確な水防活動のための取組	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項	エ) 水防に関する広報の充実	各構成員の水防に関する広報の取組状況や取組予定等を共有し、先進事例を踏まえた広報の充実について検討調整	S	R03年度までに実施	振興局	■	■	■	■	■	・ポスター掲示・リーフレット配布やHPを通じ、水防活動の担い手となる消防団員の募集を行うとともに、水防協力団体の募集・指定を行う等、水防団確保のための取組みを実施。	・ポスター掲示・リーフレット配布やHPを通じ、消防団員の募集を行うとともに、協力団体の募集・指定を行う等、水防団確保のための取組みを実施。	・引き続き継続実施	・引き続き募集を実施する。
						興部町	■	■	■	■	■	・紋別地区消防組合と連携し消防団員募集のための広報、ポスター掲示、パンフレット配布等を継続的に実施。	・紋別地区消防組合と連携し消防団員募集のための広報、ポスター掲示、パンフレット配布等を継続的に実施。	・紋別地区消防組合と連携し消防団員募集のための広報、ポスター掲示、パンフレット配布等を継続的に実施。	
						西興部村	■	■	■	■	■	・紋別地区消防組合と連携し消防団員募集のための広報、ポスター掲示、パンフレット配布等を継続的に実施。	・紋別地区消防組合と連携し消防団員募集のための広報、ポスター掲示、パンフレット配布等を継続的に実施。	・紋別地区消防組合と連携し消防団員募集のための広報、ポスター掲示、パンフレット配布等を継続的に実施。	
						雄武町	■	■	■	■	■	・紋別地区消防組合と連携し消防団員(水防団員兼務)募集のための広報、ポスター掲示、パンフレット配布等を継続的に実施。	・紋別地区消防組合と連携し消防団員(水防団員兼務)募集のための広報、ポスター掲示、パンフレット配布等を継続的に実施。	・紋別地区消防組合と連携し消防団員(水防団員兼務)募集のための広報、ポスター掲示、パンフレット配布等を継続的に実施。	
						紋別地区消防組合	■	■	■	■	■	・関係町村と連携して消防団員(雄武町は水防団員を兼務)募集のための広報、ポスター掲示、パンフレット配布等を継続的に実施。	・関係町村と連携して消防団員(雄武町は水防団員を兼務)募集のための広報、ポスター掲示、パンフレット配布等を継続的に実施。	・関係町村と連携して消防団員(雄武町は水防団員を兼務)募集のための広報、ポスター掲示、パンフレット配布等を継続的に実施する。	団員募集のための広報等を継続する。
	オ) 水防団間での連携、協力に関する検討	各水防団の分団等の配置、管轄区域等を共有し、洪水時の水防団間の連携・協力について検討調整	T	R03年度までに実施	雄武町	■	■	■	■	■					
					紋別地区消防組合	■	■	■	■	■	合同の訓練、研修会はなかった。	合同の訓練、研修会がなかった。	合同の訓練、研修会があれば参画する。		
	■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項	ア) 災害拠点病院等の施設管理者への情報伝達の充実	洪水浸水想定区域内における災害拠点病院等の立地状況を確認し、施設管理者等に対する洪水時の確実な情報伝達の方法について検討調整	U	R03年度までに実施	興部町	■	■	■	■	■	・近隣市町村の病院との連携について、引き続き施設管理者と協議。	・近隣市町村の病院との連携について、引き続き施設管理者と協議。	・近隣市町村の病院との連携について、引き続き施設管理者と協議。	
						北海道警察及び興部警察	■	■	■	■	■	完			
		イ) 洪水時の市町村庁舎等における機能確保の対策の充実	市町村庁舎等における洪水時に想定される浸水被害を確認し、適切に機能確保するために必要な対策(耐水化、非常用電源等の整備等)について検討調整	V	R03年度までに実施	興部町	■	■	■	■	■	・耐震診断の結果で庁舎については、耐震補強が必要との結果が出ているが、財政上の問題で、耐震化については、検討が進んでいない。	耐震補強、改築については財政上の問題で当面困難と考えている。	耐震補強、改築については財政上の問題で当面困難と考えている。	
西興部村						■	■	■	■	■	完				
雄武町						■	■	■	■	■	完				
紋別地区消防組合	■	■	■	■	■	■	■	■	・浸水被害が予想される興部支署について、119番・通信指令等の移転方法を検討中、車両等は避難場所等へ移動することとした。庁舎の耐震診断では、耐震補強が必要との結果が出ているが、財政上の問題で、耐震化については、検討が進んでいない。 ・雄武支署において各分団庁舎に非常用発電機を設置。	・興部支署の通信指令等は、NTT交換局が支署より低い場所に在ることから、交換局機器が浸水し電話回線が不通となった場合、避難場所へ移動し、衛星携帯電話及び可搬型移動局用無線装置により対応するよう検討している。 ・雄武支署において各分団で非常用発電機の取扱訓練を実施した。	・発災時に迅速に対応できるよう体制を維持する。 ・必要に応じ庁舎の防災機能の強化を検討する。	・発災時に迅速に対応できるよう体制を維持する。 ・必要に応じ庁舎の防災機能の強化を検討する。			

大項目	中項目	小項目	細目	課題番号	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					R1年の取組状況	R2年の取組状況	R3年以降の取組内容	R2までに取り組んで、 ①: 気の付いたことや分かったこと、 ②: 今後の取組に向けたコメント
							H29	H30	R1	R2	R3				
的確な水防活動のための取組	■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項	ウ)大規模工場等の自衛水防に係る取組の促進	洪水浸水想定区域内の地域防災計画に定められている大規模工場等の施設について、浸水防止計画の作成状況、訓練実施状況を確認	W1	R03年度までに実施	興部町						・浸水防止計画の作成や訓練実施について、施設管理者と協議。	・浸水防止計画の作成や訓練実施について、施設管理者と協議。	・浸水防止計画の作成や訓練実施について、施設管理者と協議。	・現在までに検討に至っていない。
			浸水防止計画の作成や訓練の実施状況等を踏まえ、それぞれの取組を促す支援策について検討調整	W2	R03年度までに実施	興部町							・浸水防止計画の作成や訓練実施の支援策等について、施設管理者と協議。	・浸水防止計画の作成や訓練実施の支援策等について、施設管理者と協議。	・現在までに検討に至っていない。
氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組	■氾濫水の排水、施設運用等に関する事項	ア) 排水施設、排水資機材の運用方法及び排水施設の整備等	洪水浸水想定区域内における排水施設、排水資機材の配置、運用方法等に係る情報を共有し、洪水時の排水施設等の管理者間の連絡体制を構築するとともに、洪水時に円滑かつ迅速な排水を行うための排水施設等の運用方法について検討・調整する	X	R03年度までに実施	網走開建						・流域外の関係機関を含め、幅広く案内し排水訓練を継続的に実施。	・流域外の関係機関を含め、幅広く案内し排水訓練を継続的に実施。	・引き続き、流域外の関係機関を含め、幅広く案内し排水訓練を継続的に実施。	・担当者が災害時に対応可能とすべく、計画的に継続実施するとともに、幅広く関係機関への声かけを実施
						振興局						・引き続き内水氾濫実績を整理し必要な排水活動のための検討を実施。	・道管理区間における浸水等氾濫実績を把握し必要な排水活動のための検討実施。	・道管理区間における浸水等氾濫実績を把握し必要な排水活動のための検討実施。	・内水氾濫実績を把握のうえ必要に応じて継続的に検討。 ・要請があれば引き続き積極的に排水訓練に参画。
						自衛隊						・関係機関で実施する排水訓練等への参加要請がなかった。	・関係機関で実施する排水訓練等への参加要請がなかった。	・関係機関で実施する排水訓練等があれば積極的に参画。	②引き続き、各関係機関主催の訓練等に参画。
						興部町						・排水作業に必要な施設、資機材について検討。 ・関係機関で実施する排水訓練等があれば参画。	・排水作業に必要な施設、資機材について検討。 ・関係機関で実施する排水訓練等があれば参画。	・排水作業に必要な施設、資機材について検討。 ・関係機関で実施する排水訓練等があれば参画。	
						西興部村						・排水訓練等への参画はなかった。	・排水訓練等への参画はなかった。	・関係機関で実施する排水訓練等があれば必要に応じて参画。	
						雄武町						・排水作業に必要な施設、資機材について検討。 ・関係機関で実施する排水訓練等はなかった。	・排水作業に必要な施設、資機材の整備はなかった。 ・関係機関で実施する排水訓練等はなかった。	・排水作業に必要な施設、資機材について検討。 ・関係機関で実施する排水訓練等があれば可能な範囲で参画。	
		紋別地区消防組合							・排水作業に必要な施設、資機材の整備はなかった。 ・関係機関で実施する排水訓練等はなかった。	・排水作業に必要な施設、資機材等の整備はなかった。 ・関係機関で実施する排水訓練等はなかった。	・排水作業に必要な施設、資機材等について検討する。 ・関係機関で実施する排水訓練等はなかった。				
イ) 洪水を未然に防ぐ対策 ※河川改修や維持対応等のハード対策	河川管理者によるハード整備や河道の維持管理状況について情報共有する	Y	R03年度までに実施	振興局						・河川改修等の整備促進するとともに、計画的な維持管理を継続し、越水・溢水リスクを低減。 オコツナイ川、ホンオコツナイ川【掘削(改修)】 興部川、沙流川【伐木、掘削】	・河川改修等の整備促進するとともに、計画的な維持管理を継続し、越水・溢水リスクを低減。 オコツナイ川、ホンオコツナイ川【掘削(改修)】 興部川、藻龍川【伐木、掘削】	・引き続き、河川改修等の整備を促進するとともに、計画的な維持管理を継続し、越水・溢水リスクの低減を図る。	・河道掘削や伐木などを計画的に継続して実施。		

大項目	中項目	小項目	細目	課題番号	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)					R1年の取組状況	R2年の取組状況	R3年以降の取組内容	R2までに取り組んで、 ①: 気の付いたことや分かったこと、 ②: 今後の取組に向けたコメント
							H29	H30	R1	R2	R3				
その他	■その他	ア) 災害時及び災害復旧に関する支援強化	国が実施する研修、訓練への地方公共団体の参画など、災害対応にあたる人材を育成するための方策や、地方公共団体間の相互支援体制の強化を図るための方策について検討調整	Z	R03年度までに実施	網走開建	■	■	■	■	■	・自治体職員受入可能な研修メニューを紹介。 ・出前講座要請は無かった。	・自治体職員受入可能な研修メニューを紹介。 ・出前講座要請は無かった。	・必要に応じ、自治体職員受入可能な研修メニューを紹介。 ・網走開発建設部広報官への連絡調整により必要に応じて出前講座を実施。	・関係する町村より要請があった場合は、積極的に実施
						振興局	■	■	■	■	■	・国の研修・訓練への参画はなかった。	・国の研修・訓練に参加する機会がなかった。	・国の研修・訓練があれば参加。	・要請があった場合は、積極的に参画。
						西興部村	■	■	■	■	■	・訓練等への参画は無かった。	・訓練等への参画は無かった。	・必要に応じて訓練等に参画。	
						雄武町	■	■	■	■	■	・国の研修・訓練への参画はなかった。	・国の研修(防災スペシャリスト養成研修)を受講。	・国の研修・訓練があれば可能な範囲で積極的に参画。	
		網走開建	■	■	■	■	■	・光ケーブル接続支援要請は無かった。 ・引き続き、情報共有を行った。	・光ケーブル接続支援要請は無かった。 ・引き続き、情報共有を行った。	・光ケーブルの接続は自治体負担となるが、必要に応じて接続支援を実施。 ・引き続き、情報共有を行う。	・関係する町村より支援要請があった場合は、必要に応じて実施				
		振興局	■	■	■	■	■	・北海道防災地図の整備に係る資料刺繍検討を行った。	・北海道防災地図を利用した運用はR3以降を予定。	・北海道防災地図の体制が整い次第運用。	・体制が整い次第運用予定。				
	イ) 災害情報の共有体制の強化	AA	各構成員における災害情報の共有体制を強化するため、共有すべき災害情報や当該情報の共有方策等について検討調整	自衛隊	■	■	■	■	■	・UTMグリッド図を使用した訓練等がなかった。	・UTMグリッド図を使用した訓練等がなかった。	・関係機関と連携し、情報共有を図る。	②関係する町村より支援要請があった場合は、必要に応じて実施		
				西興部村	■	■	■	■	■	・関係機関との連携強化・情報共有等を目的に、気象台、開建、振興局で共催する主催する防災知識普及啓発セミナーに参加。	・防災セミナー(道危機対策課)、講演会(網走地方気象台)に講師として来村された機会に意見交換等を通じて、担当者間の情報共有を図った。	・関係機関と連携し、情報共有を図る。	担当者間の平時からの顔が見えるコミュニケーションを図ることにより、災害対応の際も円滑に情報共有が図られる。		
				雄武町	■	■	■	■	■	・関係機関と連携し、情報共有。	・関係機関と連携し、可能な範囲で情報共有。	・関係機関と連携し、可能な範囲で情報共有。			
				網走開建	■	■	■	■	■						